

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 8 月 30 日 (2007.8.30)

【公開番号】特開 2006-26290 (P2006-26290A)
 【公開日】平成 18 年 2 月 2 日 (2006.2.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-005
 【出願番号】特願 2004-213136 (P2004-213136)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 A

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 13 日 (2007.7.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2】

上記無接触操作検出手段の選択、或いは上記直接操作検出手段の選択を行う検出先選択手段を加え、

上記遊技進行信号出力手段を、上記検出先選択手段によって選択された上記無接触操作検出手段、或いは上記直接操作検出手段が遊技の進行に関わる操作を検出した場合に、該遊技の進行に関わる操作に対応する遊技進行処理手段に遊技の進行に関わる信号を出力することとしたことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3】

上記無接触操作検出手段は、操作を検出する無接触検出部を備え、

上記直接操作検出手段は、操作によって接触される接触片、又は操作によって移動される被操作部材を備え、

上記無接触検出部と、上記接触片、又は上記被操作部材とは、上下位置に配設されていることを特徴とする請求項 1、又は請求項 2 に記載の遊技機。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

請求項 2 の発明の遊技機は、上記無接触操作検出手段の選択、或いは上記直接操作検出手段の選択を行う検出先選択手段を加え、上記遊技進行信号出力手段を、上記検出先選択手段によって選択された上記無接触操作検出手段、或いは上記直接操作検出手段が遊技の進行に関わる操作を検出した場合に、該遊技の進行に関わる操作に対応する遊技進行処理手段に遊技の進行に関わる信号を出力することとしたことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技

機を要旨とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

これにより、請求項1の作用に加え、検出先選択手段が無接触操作検出手段の選択、或いは直接操作検出手段の選択を行い、遊技進行信号出力手段がその検出先選択手段によって選択された無接触操作検出手段、或いは直接操作検出手段が遊技の進行に関わる操作を検出した場合に、その遊技の進行に関わる操作に対応する遊技進行処理手段に遊技の進行に関わる信号を出力する。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

従って、検出先選択手段によって選択された無接触操作検出手段、或いは直接操作検出手段だけが遊技の進行に関わる操作の検出を行うことになり、検出先選択手段によって選択されなかった無接触操作検出手段、或いは直接操作検出手段が遊技の進行に関わる操作の検出を行うことが無くなる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

請求項3の発明の遊技機は、上記無接触操作検出手段は、操作を検出する無接触検出部を備え、上記直接操作検出手段は、操作によって接触される接触片、又は操作によって移動される被操作部材を備え、上記無接触検出部と、上記接触片、又は上記被操作部材とは、上下位置に配設されていることを特徴とする請求項1、又は請求項2に記載の遊技機を要旨とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0037】

請求項2の発明の遊技機は、請求項1の効果に加え、検出先選択手段によって選択された無接触操作検出手段、或いは直接操作検出手段だけが遊技の進行に関わる操作の検出を行うことになり、検出先選択手段によって選択されなかった無接触操作検出手段、或いは直接操作検出手段が遊技の進行に関わる操作の検出を行うことが無くなることから、例えば、無接触操作検出手段が操作を検出しない選択をしておく、無接触操作検出手段が、遊技者の指の動きに反応して、操作を検出することを防止することが出来、例えば、無接触操作検出手段が意図しないときに、操作を検出したことによって、意図しない不利益を被ると言ったことを防止するなどの使用法が出来、遊技者の選択範囲が増えると共に、利便性が向上されるという極めて優れた効果を奏する。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 1 8 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 1 8 4 】

又、検出先選択スイッチ４５によって選択された無接触操作装置３、１０３、３０３、４０３、５０３、或いは投入ボタン２１、ベルト回転始動装置２３、停止ボタン２５だけが遊技の進行に関わる操作の検出を行うことになり、検出先選択スイッチ４５によって選択されなかった無接触操作装置３、１０３、３０３、４０３、５０３、或いは投入ボタン２１、ベルト回転始動装置２３、停止ボタン２５に関わる操作の検出を行うことが無くなることから、無接触操作装置３、１０３、３０３、４０３、５０３が誤って、遊技者の指の動きに反応して、操作を検出して、遊技者が意図しない不利益を被ると言った可能性を未然に防止する選択が可能になると言った使用法が出来、遊技者の選択範囲が増えると共に、利便性が向上されるという極めて優れた効果を奏する。